

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	コミュニケーション英語 I (習熟)	2	1 - A

1. 学習の到達目標

- * 英語の「ことばの使い方のルール」を習得し、英語を正しく話したり、聞いたり、読んだり、書いたりすることができるようになる。
- * テキストやワークの練習問題を通じて、さまざまな英語の問題に慣れる。
- * 英単語や英文の並べ替え問題の確認テストを通して基礎学力の徹底を図る。
- * 授業を通して、人権問題等を考える機会を持つ。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> * be 動詞の使い方 * Lesson1 現在時制、過去時制 中間考査 * Pre Lesson2 動詞の形の変化 * Lesson2 未来時制 * Lesson5 助動詞 (I) * Lesson6 助動詞 (II) 期末考査 * Pre Lesson1 文の種類 	<ul style="list-style-type: none"> * プリントを使って be 動詞の使い方を理解する。 * 現在時制、過去時制の疑問文や否定文を作れる。 * 動詞の変化表を習得して、使えるようになる。 * 英語で未来時制のことを表現できるようになる。 * さまざまな助動詞を習得して、英文を理解し、実際に使えるようになる。 * さまざまな種類の英文を理解する。 《随時、単語テスト・並べ替えテスト実施》
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> * Optional Lesson1 文型 * Lesson7 受動態 (I) * Lesson8 受動態 (II) 中間考査 * Lesson9 不定詞 (I) * Lesson10 不定詞 (II) * Lesson11 不定詞 (III) * Lesson12 動名詞 期末考査 * Lesson13 分詞 (I) 	<ul style="list-style-type: none"> * 英語の 5 文型を理解する。 * 基礎的な受動態の文を理解して、発展的な受動態の文を表現できるようになる。 * 不定詞の基礎を学び、使い分けができるようになる。 * 不定詞の意味上の it を用いた表現を理解する。 * 不定詞を使った重要表現を理解する。 * 動名詞を理解し、不定詞との違いを理解する。 * 現在分詞・過去分詞の修飾的用法を理解する。 《随時、単語テスト・並べ替えテスト実施》
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> * Lesson14 分詞 (II) * Lesson15 比較 (I) * Lesson16 比較 (II) 学年末考査 	<ul style="list-style-type: none"> * 発展的な分詞構文の用法を理解する。 * 比較級・最上級を用いた基本的な用法を理解する。 * 比較級・最上級を用いた発展的な用法を理解する。 * 1 年間のまとめ 《随時、単語テスト・並べ替えテスト実施》

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査、提出物、授業態度などの総合評価
------	----------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりできる。	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や聞き手の意向などを理解する。	英語の学習を通じて、ことばとその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身につけている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES (数研出版)
副教材	WORKBOOK for LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR (数研出版)、ESSENTIAL WORDS 1 (中部日本教育文化会)、辞書は友達ワークブック (学研)